

(5) 国道十二号線（国道）

もと国道二十三号線と称したが、改修後に今の名に改められた。この線は旧藩時代の高松街道であつたが、明治二十年頃に国道に編入されて改修工事が施された。

その後時勢の要求により、昭和十四年度より継続事業として起工されるよう国道二十三号線改良期成同盟会から主務大臣に屢々陳情の結果、実施されることとなり、爾来改修工事を続けて十年の年月を費やして、昭和二十四年七月蓬萊橋の完成と共に高松、丸亀間の開通を見たのである。

改良計画の内容

改良区間 自 高松市 至 丸亀市

道路の延長、幅員 二五、七三杆 九一・一一一三米

右の中宇多津町関係は 道路の延長二、四〇八杆 内橋梁長七九、〇米

昭和二十七年六月十日、道路法の施行により、同年十二月四日政令第四七七号により、二十三号線は「二級国道」十一号線「起点徳島市、終点松山市」に指定された。